

新たな出雲市総合計画に関する意見

第 1 回総合計画審議会後に審議会委員の皆様からいただいた意見です。

(委員五十音順)

	審議会委員	内容	意見詳細
1	金築千晴委員	教育	<ul style="list-style-type: none"> ・教育関係で思う事は、多様化する社会の中で、「ありのままを認め合う」という事だと思っています。 ・LGBTQ、障がいの有無などにかかわらず相手を認める、そして自分も認めることができる教育を望みます。 ・ふるさとに誇りを持てる教育、うわべだけのふるさと学習ではなく、もう少し踏み込んだ教育を望みます。「母川回帰」自分のルーツに誇りを持つことで自己肯定感も高まるのではないのでしょうか。
2	齋藤茂子委員	健康・福祉 ほか	<ul style="list-style-type: none"> ・出雲未来図の表紙にある子どもたちの絵は、とてもほほえましいと思いました。同じように子どもたちの夢、想いなどが表現できるコーナーがあるとよいと思います。 ・健康・福祉に関して力点をおいてほしいことは、次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ①個人の幸福感、生きがい、社会生活における役割等を涵養する施策の強化 ②不安定な生活（福祉ニーズの多様化、複雑化）に対応できる総合相談体制づくりの強化です。 ・危機管理については、塩飽委員と同意見です。
3	田邊達也委員	検証結果	<p>1 出雲未来図の検証結果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4つの戦略プロジェクトの2.「定住人口キープ17万人プロジェクト」は、全体としては、クリアできたが、中山間地域、海岸部の人口減少は大変憂慮すべき状態であると考えておりますので、10年前に記述を引用して、予想に対しての検証結果をご質問しましたが、具体的な数字をお答えいただけませんでしたので、改めてお教え願います。 <p>⇒このことについては、11月12日付けの文書にて回答しました。</p> <p style="text-align: right;">(裏面に続く)</p>

	審議会委員	内容	意見詳細
3	田邊達也委員	観光	<p>2 観光産業の今後について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この10年の観光は、平成20年から始まった出雲大社の平成の大遷宮のお陰であることは言うまでもありませんが、官民一体とも言うべき取り組みは、他にないものと確信しています。これを単に偶然の産物にすることのないよう、きちんとした科学的な検証を実施されることが、これからの8年の大きな指針となると考えます。 ・8年後は、名実ともに「観光都市出雲」の構築を目指すべきと提案いたします。
4	吉田美智子委員	検証結果	<ul style="list-style-type: none"> ・出雲未来図の評価、検証において、令和2年度末の目標達成率が0%となっているものが大変多く見受けられました。コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたものと考えられますが、この数値を目標達成率として評価されるのでしょうか。 ・コロナウイルス感染症がどのように影響していくかは不透明ですが、コロナ前の数値も考慮して評価、検証すべきではないかと考えます。 ・また、今回の評価、検証結果にあわせて、新たな出雲市総合計画における「取り組み内容」と「数値目標」については実効性のある内容の設定が重要と考えます。